

## 変えていく力

新年あけましておめでとつございます。皆様におかれましては、おすこやかな新春をお迎えのこと存じます。皆様にとって今年1年が実りある年となりますようにお祈り申しあげます。

私たち党派「変えていく力」は、昨年1月の市議会議員選挙後に30代の若手3人で会派を結成させていただきました。本年も「柔軟な発想力」「迅速な行動力」「謙虚な傾聴力」でもって、



大野 幾子



塚 理



福丸 孝之

市民の皆様方のお声を議会へと届けていき、より活発な議会運営が実施されるように力を注いでまいります。

さて、昨年は国政において皆様の意思により政権交代が起こりました。さまざまな政治的判断において、我々茨木市政にも影響が出ております。これからの地方政治には、国政に左右されることなく、地方自治体として自立し

ていくことが急務だと我々は考えています。市民と議会と行政がともに手を取り、困難な状況を乗り切るための力として活動していきたいと考えております。

若い力でもって、「次世代にツケを残さない」という気概で、本年も活動してまいります。皆様からのご指導、ご鞭撻よろしくお願いいたします。

自由民主党・  
市民会議

新年明けましておめでとつございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

日頃より、自由民主党・市民会議のメンバーに、多大なるご支援を賜り、深く感謝申しあげます。

さて、本年も昨年に引き続き大変厳しい経済情勢の影響が茨木市にも及ぶことが予想されます。茨木市の行財政改革はできることから進めており、すでに、市民の皆様にはご負担をおかけしておりますが、本年はさらに一段



上田 光夫



下野 巖



上田 嘉夫



中内 清孝



木本 保平



大谷 敏子

と踏み込まなければならぬと考えております。

当会派は、議員年金の廃止を提唱し、年間約4千万円に及ぶ市の負担軽減に努めてまいります。市民の皆様の負担を極力少なくしながらも、市民サービスの水準を低下させないための行財政改革を進めることを私たちは考えてお

ります。

国も地方も変革の時代であることに間違いはありませんが、歳出削減だけでは将来の夢や希望を持ち続けることはできません。「未来の夢と希望」この言葉を念頭に置いた変革を進めてまいります。

特に、未来を担う子どもたちが安全

各 派  
新年の抱負

かつ安心して学べる環境づくりが重要であり、子どもたちの道徳教育や地域の文化・歴史、伝統教育を進めるには、家庭・地域・学校が連携して総合的な取り組みをしなければなりません。

また、学校施設の耐震補強の早期完成、中学校給食のあり方について、取り組んでまいります。

次に、未来へのまちづくりとして、北部丘陵開発の中部・東部地区開発を、市の実情に応じて進めてまいります。

## 公明党

市民の皆様、新年明けましておめでとつございます。

輝かしい新春をお健やかにお迎えのこと心からお喜び申しあげます。

さて、昨年は1月の市会選と8月の衆院選において、公明党への絶大なるご支援を賜り、心より感謝申しあげます。

衆院選の結果、政権は交代しましたが、日本が少子高齢化・人口減少社会にどう対応していくかという難しい課題に直面していることに変わりはありません。

公明党は「大衆とともに」との立党精神に立脚した「3000人を超える議員のネットワーク」と、連立政権で与党としての10年間の経験を十分に生

市街地の大企業跡地の開発、JR茨木駅・阪急茨木市駅周辺の整備等が大きな課題です。市街地を発展させることは直接的な経済活力につながり、将来の経済成長にも貢献します。未来あるまちづくりのためには、その他、防犯・防災への備え、産業基盤の整備などが重要です。

10年、20年後の茨木市の発展を見据えて、「歩く。聞く。心える。」を基調として、市民の皆様の思いを的確に市

政に反映し、活力あるまちづくりに取り組み、市民が夢と希望を持ち続けるよう努力してまいります。

自由民主党・市民会議6人は、一丸となり全力で頑張つてまいります。どうか本年も、昨年同様、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も皆様に幸多い年でありますよう、心よりお祈りいたします。



青木 順子



篠原 一代



松本 泰典



坂口 康博



河本 光宏



村井 恒雄



大島 一夫

かし、いま一度、原点に立って「国民の生活現場」から政策を積み上げ、真に国民のニーズに込えられる、しかも「実現可能」で「整合性」のとれた政策を積極的に発信し、その役割を果たしてまいります。

日本経済は景気悪化により企業活動や雇用情勢にも深刻な影響を与え、非常に苦しい経済環境が続いています。

本市も、市税収入等の大幅な減収で非常に厳しい行財政運営を強いられて

います。限られた財源の中で、市民福祉の充実や行政水準の向上を図るため、まずは、議員手当の減額や政務調査費を半額にし、持続可能な行政サービスを提供するため、個人給付や受益者負担の見直しも行ってまいりました。

私たち公明党議員団は、安心・安全、そして、安定のまちづくりを進めるための施策の推進に全力で取り組んできました。

ムダ削減による行財政改革の推進、

小・中学校の体育館や校舎の耐震化、中学校普通教室のエアコン設置、妊婦健診の公費助成を3回から14回への拡充、乳幼児医療費助成を小学2年生まで拡充、JR駅前の自転車駐車場整備、西河原防災公園整備の推進、南地域体育館の建設など、多くの施策を実現することができました。

平成22年度の予算編成では、昨年9月、市長に対し、これまでの要望事項に加え、感染症予防のため、ヒブワクチンや新型インフルエンザワクチンなどの公費助成の実施、

乳幼児医療費（入院）の助成制度を小学6年生までに拡充、高齢社会に対応したバリアフリーの充実した「歩いて暮らせるまちづくり」の計画策定、小学校普通教室へのエアコン設置など、最優先で取り組むべき重点項目を予算要望いたしました。早期実現を目指して全力で取り組んでまいります。

公明党は、「福祉の党」「教育の党」「平和の党」という公明党の旗を高く掲げながら、どこまでも現場第一主義で、庶民の側から、地域から、政策を立案・発信し「生活を守り抜く政治」「清潔な政治」の実現に向けて全力を傾けてまいります。

本年も、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

皆様にとって素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



## 日本共産党

新春のお慶び申しあげます。日頃の日本共産党市会議員団に対する温かいご支援とご協力に心から感謝申しあげます。日本共産党市会議員団は「政権交代」のもと、よいものには賛成、悪いものには反対、問題点はただす、「建設的野党」の立場で市民の願い実現に皆さんと力を合わせ、議会論戦と草の根の活動に頑張る決意です。

茨木市は、景気の悪化や事業所の流出を大げさに宣伝しながら、市民負担増とサービス後退を進めてきました。しかし、実際には新たな企業進出やマンション建設によって、法人市民税、固定資産税、都市計画税の総計で2億



朝田 充



岩本 守

増を計画しています。一方、破綻必至の彩都中部地区開発の関連道路建設に7億3千万円、市民会館建て替えのため30億円の基金積み立て、阪急茨木市駅前の府営住宅跡地を28億円で購入するなど大型開発、ハコモノ建設にのめり込んでいる。

円の増となっています。結局、平成20年度は普通会計で9億円、国保会計で13億円、介護保険会計で35億円の赤字であるにもかかわらず、21年度は、障害者に対する福祉金カットや公共施設の駐車場の有料化で総額3億5千万円の「福祉切り」を強行しました。

さらに今年、下水道使用料の大幅引き上げをはじめ、施設使用料、窓口手数料など総額10億円を越す大幅な負担

党市議団は「住民犠牲」を押し付けながら旧態依然とした大型開発に偏重した市政から、暮らしと環境を優先させる市政への政策転換を求める議会論戦に力を尽くします。また、国民健康保険料の引き下げや水道料金累積17億円の黒字を市民に公平に還元を求める請願署名行動など、一つでも二つでも皆さんの願いが実現されるよう頑張ります。

ました。

経済面では、世界経済の回復は未だ見込めず、我が国のGDP（国内総生産）は若干の上昇が見られるものの、デフレ傾向にあり、完全失業率は5%台で推移するなど、厳しい国民生活が続いている現状にあります。

また、新型インフルエンザの影響も大きく、市内学校園の閉鎖という事態も発生しました。

このような厳しい経済状況や国内外を問わず起こる急激な変化に振り回されず、安定して市民の安全・安心を確保し、自立・自律した自治体を構築するには、私たちは一議員としてだけではなく、市議会としても改革を行わなければならないと考えています。

昨年は、私たちの会派から議長を選出したとき、議員諸氏の同意を得て、公共施設駐車場有料化に伴い議員駐車場有料化や政務調査費の50%カット、行政視察費の削減などを行いました。

本年も市議会がより活性化するよう、全力で改革に取り組んでまいります。

さらに、南極観測隊の第1次越冬隊長・西堀栄三郎さんの「同じ性格の人たちが一致団結しても、その力は和の形でしかふやせない。異なる性格の人たちが団結すれば、積の形で大きくなる」という言葉にあるように、私たちは、多くの皆さんと「対話」を実践し、茨木の市民力を積（たか）め、掛け算として発揮できるよう、努力してまいります。本年もよろしく願っています。

## 刷新市民フォーラム

あけましておめでとうございます。

私たち刷新市民フォーラムは、昨年1月の改選後、無所属の議員5名で結成いたしました。会派結成にあたり、①政党や組織にとらわれず、②市民の代表として、③現在だけではなく未来の茨木市像を考え、④会派内でも議論を尽くし、判断・決断・行動すること



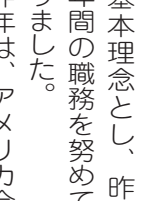
小林美智子



桂 睦子



登 辰見



羽東 孝



山本 隆俊

を基本理念とし、昨年、1年間の職務を努めてまいりました。

昨年は、アメリカ合衆国で初の黒人大統領が誕生し、核兵器抑止を訴えてノーベル平和賞を受けたことや、日本においても

戦後初めて政権交代が起こるなど、政治の場において大きな変化の年となり

## 民主みらい

市民の皆様 新年明けましておめでとうございます。

今年は国連総会で宣言された「国際生物多様性年」です。地球の温暖化問題が深刻さを増す中で、CO2排出量の削減、脱炭素社会の実現に向けて世界は大きく動き出しています。

地球の温暖化は気候の変動と同時に、地球上のすべての動植物の生態系にも大変深刻な影響を与えています。かけがえのない地球に住む一員として、私たち人類に課せられた責務は大変大きいものです。そうした地球規模の深刻な環境問題をしっかりと踏まえながら、身近なところから動植物の生態系を守り、環境に優しい地域社会を実現するために、行政や私たち市民のライフスタイルも問われています。今年は、みんなでそうした地球環境問題や生物の多様性ということについて、身近なところで、できることから着実に取り組みを始める1年にしていきたいと思います。

さて、昨年は、アメリカの大統領としては史上初めてアフリカ系で1960年代以降生まれのオバマ大統領が誕生しました。そして「核なき世界」を訴えたことが評価され、ノーベル平和賞を受賞しました。一方、国内でも8月30日の衆議院総選挙において与野党逆転が実現し、戦後長らく続い



中村 信彦



石井 強



田中 総司



安孫子浩子



滝ノ上万記



友次 通憲

てきた自民党政治、自公連立政権に代わって鳩山連立政権が誕生しました。

民主党は、「国民の生活が第一」の政治を訴え、これまでの官僚の天下りや、税金のムダ遣いを改め、マニフェストに掲げた政策の実現を訴え、支持を得ました。

鳩山連立内閣は、官僚主導の中央集権型政治を、中央と地方の対等な関係を確認し、税財源の配分を見直すこと、そして、国でやる仕事と自治体の担うべき仕事を整理し、国に集中していた権限や権能、財源をそれぞれの自治体に移し、これまで各省庁の補助金としておりにてきた財源を、今後は自治体への一括交付金としておろしていくとしていいます。

まさに、地域主権の自治体経営のあり方がいまだ大きく問われています。その財源をどう使っていくのか、事業の優先順位をつけ、そのまちなしい事業を行っていく行政や議会の力量が問われてきます。私たち民主みらい会派は、

## 会派に所属しない議員

あけましておめでとうございます。



山下 慶喜

今年も平和と生活最優先です。傍聴やネットで議会のチェックをお願いします。

## 《おしらせ》

11月臨時会、12月定例会の内容については、平成22年2月1日発行予定の市議会だより第188号で掲載を予定しておりますので、ご覧下さい。

## 議会日誌

### 10月

- 1～2日 安威川ダム対策特別委員会 行政視察（福岡県糟屋郡篠栗町）
- 5～6日 北部丘陵開発対策特別委員会 行政視察（神奈川県横浜市）
- 15日 議会広報委員会
- 19～20日 民生常任委員会行政視察（愛媛県今治市・香川県高松市）
- 21日 幹事長会
- 22～23日 建設常任委員会行政視察（山口県山口市・周南市）
- 26～27日 文教常任委員会行政視察（静岡県富士市・沼津市）

### 11月

- 25日 議会運営委員会 幹事長会
- 30日 本会議（臨時会）